

# あの未曾有の大震災から1年。芸術文化ができることとは…。

震災後、文化ホールも大きな被害を受け、ほとんどの文化ホールが休館しました。現在でも再開のめどが立っていない文化ホールは数多く存在します。あの震災から1年。芸術文化ができることとは一体何なのでしょう。もちろん芸術文化はガレキひとつ取り除くことはできません。しかし、それほど無力でもないのです。芸術文化

がその力を発揮するのは、むしろ差し迫った危機が去ってからの、長い復興の過程においてであると思います。被災した方々の心の傷の大きさは計り知れません。そんなとき、芸術文化はその心に寄り添うことができます。それはとても大切なことで、とても大事な役割を果たしていると思うのです。〈みのんば編集局 一同〉

## C.C.C.-コスモス・キャンパス・こんさあ〜と 朗読会&YES BANDライブ



2012.2.26 コスモス

今回の「C.C.C.(コスモス・キャンパス・こんさあ〜と)」は大震災での原発事故を学ぼうと第5福竜丸事故をテーマにした絵本の読み聞かせが行われました。絵本ということで子どもにも分かるように語られましたが、しっかりと原発の怖さを伝える内容でした。絵本の読み聞かせの後、絆から生まれる奇跡を信じ、YES BANDのライブが行われました。「C.C.C.」は地域を元気にと生まれたプロジェクト。震災で一時は地域の活力が失われかけましたが、若い力で小美玉の元気を生み出す活動を展開してくれるでしょう。〈みのんば編集局 福島 ヤヨビ〉

## 映画サロン「なつかしの名画座」 禁じられた遊び



2012.3.11 みの〜れ

▲上映後のサロンで1年前の震災に思いを馳せる人たち

日本、世界各地で鎮魂の祈りが捧げられたこの日。「なつかしの名画座」でも、上映前に黙祷と復興写真を織り交ぜた短編ムービーの上映が行われました。BGMの尺八の音色と復興にける年月への映像がすごくマッチしていて、とても感慨深いものでした。1年前の3月11日、未曾有の大災害が東日本を襲いました。ここみの〜れも森のホールの天井の一部が崩落し、風のホールは小美玉市の災害対策本部となりました。復興はまだまだ時間はかかりますが、着実に進んでいます。普通に生活が送れることに感謝しながら、共に前に進んでいきましょう。〈みのんば編集局 酒井 和美〉

## アピオス&チームアラカルト コラボレーション企画 かぐら唄 in アピオス



2012.3.11 アピオス

大震災からちょうど1年の3月11日。14時46分に黙祷からはじまった「かぐら唄 in アピオス」。みの〜れでは数多くの公演を成功させてきた彼らがアピオスでは初めての公演。選ばれたのは特別な日でした。かぐらの持ち味であるユーモアたっぷりで軽妙な茨城弁の掛け合いはこの日も健在。第1部はいつにも増して軽快に楽しく、かぐららしさ全開！第2部は大震災と彼らの想いを織り交ぜつつ、しっかりと。ステージに飾られた様々な形のランプが鎮魂の灯火のように、あるいは絆の象徴のように、さまざまな想いを映し出していました。〈みのんば編集局 大山 貴久〉

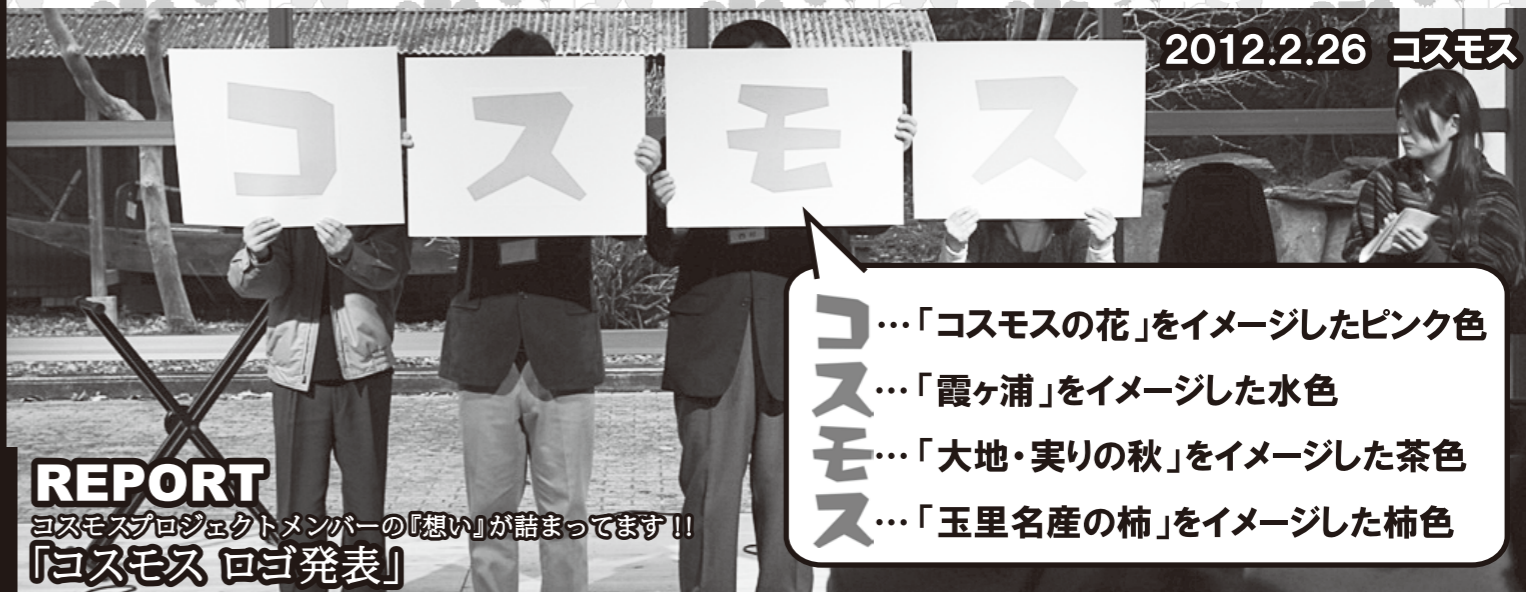
## 震災復興支援公演 ひるドキッ。コンサート



2012.3.13 みの〜れ

この復興支援コンサートを聴いて、改めて音楽がくれる力の素晴らしさを感じました。前方の席で聴いていた私は、ヴァイオリンやヴィオラ、チェロ、ピアノ、そしてソプラノの歌声が奏でる音楽に心を奪われ、演奏中に何度も明るい未来と希望が見えました。まだまだ復興には時間がかかります。ですが、これから復興していくなかで私たち高校生の力が必要不可欠だと思います。今回私たち中央高校生を招いていただいて、私たちは明るい未来を切り拓く勇気ももらいました。ありがとうございました。〈茨城県立中央高等学校 生徒代表〉

# 小美玉市生涯学習センターコスモスの ロゴデザインが決定！！



2012.2.26 コスモス

## REPORT

コスモスプロジェクトメンバーの「想い」が詰まっています！！  
「コスモス ロゴ発表」

- コスモス …「コスモスの花」をイメージしたピンク色
- コスモス …「霞ヶ浦」をイメージした水色
- コスモス …「大地・実りの秋」をイメージした茶色
- コスモス …「玉里名産の柿」をイメージした柿色

幾度かの会議がありました。幾度かの議論がありました。コスモスプロジェクトメンバーそれぞれが思い描く「コスモス」。それを象徴するロゴの決定までの道のりは、決して平坦なものではありませんでした。このロゴ誕生までのプロセスは、これ

からもコスモスを愛し続ける大きな「原動力」になると思います。2年後、20歳を迎えるコスモスに、早くも振袖を仕立ててあげられたような気持ちです。今後ともコスモスをよろしく願いいたします♪〈みのんば編集局 小松崎 由美子〉

## REPORT

平成23年度小美玉市学校アクティビティ事業集大成コンサート  
「ウラナス 紡 コンサート」

集大成コンサートも今年で3回目。市内の小学校や中学校、そして幼稚園・保育園に楽器体験を盛り込んだ出前コンサートを繰り広げてきたウラナス。お二人の迫力ある演奏は、聴く人をしばし幻想の世界に誘ってくれました。学校でウラナスの演奏を聞いたという羽鳥小5年生の女の子は「絃を触ったらとても固くて驚きました。もっとウラナスの演奏を聴きたくて家族揃ってコンサートに来ました！」とっていました。また、最前列で聴いていた玉里小5年生の男の子は「尺八の演奏にとっても興味があり、実際に演奏を聴いてみたかった！」と話していました。子どもたちからこういった言葉出てきて、学校アクティビティ事業が大きな実りになっているんだなあと感じる事ができました。〈みのんば編集局 小原 エミ〉



2012.2.19 みの〜れ

## REPORT

みの〜れ&みのり太鼓 コラボレーション企画  
「太鼓教室」

全国に名を轟かせている『みのり太鼓』からレクチャーを受けられるこの「太鼓教室」。この日は親子の部・一般の部合わせて10組21名が参加しました。まずは太鼓のリズムに合わせてホール内を走り回り準備運動。身体が温まった時点でレクチャー開始！太鼓のドドンツという響きに子どもたちは驚きを隠さずにいましたが、すぐにワクワク顔に。実際に叩き始めると、もう楽しくしょうがないみたいで、夢中で太鼓を叩いていました。さすがは『みのり太鼓』、教えるのがとても上手で最後には全員で「夏祭り」という曲を演奏できるまでになりました。今回参加した方が4月7日(土)小美玉さくらフェスティバルで成果発表をします！子どもたちの笑顔溢れる楽しいステージになりそうです！〈みのんば編集局 渡邊 高明〉



2012.2.26 みの〜れ

◀写真撮影:生田目 靖美(みのんば編集局)▶